

## 最適な会計ソフトの試験はどれ？

弊社では「会計ソフト実務能力試験」「電子会計」「弥生会計認定インストラクタ試験」など様々な会計ソフトの資格試験の対策講座を実施してきました。

通学講座・DVD講座・職業訓練などをあわせると、のべ10,000人以上の方に受講・受験を頂いております。

最近では職業訓練での講座が中心ですので、「会計ソフトの資格と仕事」という観点、さらに「各試験の特徴」をお話しします。

そのうえで、各会計ソフト試験の特徴を説明したいと思います。

### ◎中小企業での会計ソフトのシェアは？



順位	ベンダー	販売本数シェア(%)
1	弥生	37.6
2	BSLシステム研究所	20.6
3	ソリマチ	9.5

[最新の機種別ランキングを見る](#)  
[過去の受賞企業を見る](#)

	1位(シェア)	2位(シェア)	3位(シェア)
AWARD 2013	弥生(37.6%)	BSLシステム研究所(20.6%)	ソリマチ(9.5%)
AWARD 2012	弥生(35.3%)	BSLシステム研究所(23.1%)	ソリマチ(7.7%)
AWARD 2011	弥生(29.8%)	BSLシステム研究所(24.8%)	アイアールティ(10.0%)
AWARD 2010	弥生(25.2%)	BSLシステム研究所(20.9%)	アイアールティ(15.2%)
AWARD 2009	弥生(25.6%)	アイアールティ(17.9%)	BSLシステム研究所(12.2%)
AWARD 2008	弥生(28.3%)	BSLシステム研究所(12.5%)	アイアールティ(10.8%)

週間ランキング
2013年07月

<<
<
1～10
11～20
21～30
>
>>

製品を比較する

全条件をクリア

マイランキングに保存

**用途で選ぶ**

新製品から選ぶ

財務・会計ソフトで経理業務

給与計算をする

**メーカーで選ぶ**

弥生

BSLシステム研究所

コベック

ソリマチ

アイアールティ

その他

**スペックで選ぶ**

パッケージ種類

対応OS

**価格帯で選ぶ**

0.75万円未満

0.75万円以上1.5万円未満

1.5万円以上2.25万円未満

2.25万円以上3万円未満

<b>1位</b>		<span style="color: green;">→</span>	<span style="color: green;">STAY</span> (前週1位)	<p><b>弥生 弥生会計 13 スタンダード</b></p> <p>市場推定価格: <b>36,900円</b>(税込)</p> <p>発売年月: 2012/11</p> <p><a href="#">目読者の書き込み</a> <a href="#">取扱店舗一覧</a></p>	<input type="checkbox"/>
<b>2位</b>		<span style="color: green;">→</span>	<span style="color: green;">STAY</span> (前週2位)	<p><b>弥生 弥生会計 13 プロフェッショナル</b></p> <p>市場推定価格: <b>68,800円</b>(税込)</p> <p>発売年月: 2012/11</p> <p><a href="#">目読者の書き込み</a> <a href="#">取扱店舗一覧</a></p>	<input type="checkbox"/>
<b>3位</b>		<span style="color: green;">→</span>	<span style="color: green;">STAY</span> (前週3位)	<p>BSLシステム研究所 <b>かるがるできる販売 見積・納品・請求書+領収証</b></p> <p>市場推定価格: <b>3,900円</b>(税込)</p> <p>発売年月: 2013/05</p> <p><a href="#">目読者の書き込み</a> <a href="#">取扱店舗一覧</a></p>	<input type="checkbox"/>
<b>4位</b>		<span style="color: green;">→</span>	<span style="color: green;">STAY</span> (前週4位)	<p>コベック <b>みつも郎10</b></p> <p>市場推定価格: <b>20,400円</b>(税込)</p> <p>発売年月: 2007/10</p> <p><a href="#">目読者の書き込み</a> <a href="#">取扱店舗一覧</a></p>	<input type="checkbox"/>
<b>5位</b>		<span style="color: green;">→</span>	<span style="color: green;">STAY</span> (前週5位)	<p>弥生 <b>弥生会計 13 スタンダード パリユールパック(+給与計算)</b></p> <p>市場推定価格: <b>44,200円</b>(税込)</p> <p>発売年月: 2012/11</p> <p><a href="#">目読者の書き込み</a> <a href="#">取扱店舗一覧</a></p>	<input type="checkbox"/>

店頭販売が主流の調査にはなりますが、会計ソフトのみに限定すれば、従業員 100 名以下の中小企業では、弥生会計 1 色といっても過言ではないと思います。

## ◎会計ソフトを使用している中小企業が主に使っている機能は（CMC調べ）

伝票入力（100%）  
元帳作成（100%）  
試算表作成（100%）  
税理士と共同しての決算整理仕訳の作成（90%）  
決算書作成（30%）  
消費税申告書作成（10%）  
経営分析（2%）  
資金管理（キャッシュフロー含む）（2%）

## ◎浮かび上がってきた事実

シェアと機能、この2つの事実から浮かび上がってくる事実は

シェア面では

「ハローワークでの求人企業（100人未満の中小企業が多い）の半数以上は弥生会計を使っていると思われる」事

機能面では

「日常業務に関する機能はできるだけ完璧にしておく必要がある」  
「決算処理に関しては、決算時に行う仕訳の特徴が理解できていれば良い」

という事です。

## ◎では就職活動に最も役に立つ資格は？

「弥生会計が使える方」という求人が多いという事は「弥生検定」「弥生認定インストラクタ試験」など「弥生」という冠のついた試験が有利だと考えます。

ただ、試験合格の為には、どんな試験でも「一定時間以上の学習」が必要です。同じ勉強するのなら、勉強した内容が「より実務に直結」した方が良いことは自明の理だと思います。

その観点からのオススメは「会計ソフト実務能力試験1級」です。この試験は、導入→残高登録→日常処理→決算処理の一連の流れが問われており、また他の試験（画面半分は問題に占められる）と違い画面をフルに使用して、本当の意味での実技試験で実力を測る事ができます。

電子会計実務検定（中級試験）はどうでしょうか。2006年に日商が鳴り物いりで実施をはじめた試験ですが、中小企業の実務実態からは少しはずれたような問題のつくりになっています。あえて言えば社会保険・労働保険・月次決算にこだわった試験というところでしょうか。